

1 題材名 わたしのお気に入りの場所

2 題材の目標

お気に入りの場所を絵に表すことに関心をもち、感じたことを表すための形や色、構図などの構想を練り、表したいことに合う材料や用具の使い方を工夫し、表し方のよさや面白さを味わう。

3 題材について

(1) 題材観

本題材は、A表現(2)に当たり、6年間通った学校の内外や通学路の中で、お気に入りの場所を選び、その場所への思いを表すため、自分の感じたことを大切にしながら表し方を考えて工夫して絵に表す活動を行う。小学校卒業を前に、改めて通い慣れた身近な場所から感じたことを主題にすることで、一人一人の主体的な活動を促し、お気に入りの場所の形や色、奥行きなどを基に、自分なりのイメージをもったり、感じたことを工夫して表したりする力を育むことができる題材であると考えている。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、\*人中\*人が、「絵をかくことが好き」と答えた。しかしながら、表したいことに合わせて、「形や色、構図の工夫をすることができない」と答えた児童が\*人、「材料や用具で工夫して表せない」と答えた児童が\*人いた。このことから、表したいことに合わせて、形や色、構図を考えて自分のイメージをもったり、材料や用具で工夫して表したりする力を育むことが大切であると考えている。

(3) 指導観

本題材では、学習過程にイメージを伝え合う話し合い活動と様々な描画材や表現方法を試すことができる材料・用具体験活動を位置付ける。イメージを伝え合う話し合い活動では、まず、絵のテーマとなるお気に入りの場所について、思いや体全体で感じたことを伝え合う話し合い活動を行うことで、かきたい場所を見付けることができるようにする。次に、かきたい場所の写真やスケッチメモを基に、何をどのように表したいか伝え合う話し合い活動をすることで、表したいことに合わせた自分なりの形や色、構図などのイメージをもつことができるようにする。さらに、材料・用具体験活動では、様々な描画材や表現方法を試しながら、自分の思いに合う表し方を見付け、工夫して表せるようにする。以上のような手立てを講じることで、児童は、表したいことに合わせて、形や色、構図を考えて自分のイメージをもち、材料や用具で工夫して表す力を育むことができると考えている。

4 題材の評価規準

造形への 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
・お気に入りの場所を絵に表すことに関心をもち、感じたことを大切にしながら表し方を工夫したり、表し方のよさや面白さを味わったりしようとする。	・お気に入りの場所から思い付いたイメージを表すために、形や色、構図などの表し方を考え、構想を広げている。	・表したいことに合う材料や用具を選び、表し方を工夫している。	・友人の表したいこと、表し方のよさや面白さなどを味わっている。

5 指導と評価の計画（6時間扱い）

時	●学習のねらい・学習活動	評価の観点				学習活動に即した評価規準 ( )は評価方法
		関	発	技	鑑	
1	●絵にかきたいお気に入りの場所を見つける。 ・場所選びのポイントや視点を変えて見た感じの違い、省略や付け足しの方法を知る。 ・学校の敷地内を観察しながら、気に入った場所をタブレットPCで撮影する。	○				・その場所への思いや体全体で感じたことを大切にしながら、お気に入りの場所を見つけようとしている。 (観察, 学習カード, 写真)
2	・撮影した画像を見せ合いながら、その場所への思いや体全体で感じたことを伝え合う。 ・絵にかきたいお気に入りの場所を決める。					
3	●何をどのように表したいか、形や色、構図などの全体的なイメージをもつ。 ・かきたい場所について、ワークシートにまとめる。 ・かきたい「こと」や「もの」を簡単な言葉やスケッチで表す。 ・何をどのように表したいか伝え合う活動をする。		○			・何をどのように表したいか、形や色、構図の全体的なイメージをもっている。 (観察, ワークシート, スケッチメモ)
4	●いろいろな表し方を理解する。 ・たんぼ、割り箸ペン、新聞紙、歯ブラシ、スポンジ、パステルによる基本的な表し方を知る。 ・いろいろな用具を使って木のある風景をかく。 ・ミニ鑑賞会をする。			○		・いろいろな用具を使いながら感じたことを生かして、自分がイメージする木のある風景をかいている。 (観察, 作品, 学習カード)
5	●思いや感じたことがわかるように下絵をかく。 ・スケッチメモを見直す。 ・表したい感じに合う形や大きさの画用紙を選ぶ。 ・何を、どのあたりに、どのくらいの大きさでかくか検討を付けてからかく。			○		・思いや感じたことがわかるように、構図や形、大きさなどを考えて下絵をかいている。 (観察, 作品, 学習カード)
6 本 時	●表したい感じに合わせて使いたい用具を選び、色や表し方を考えて工夫して彩色する。 ・スケッチメモと下絵を見直す。			○		・表したい感じに合わせて用具を選び、色や表し方を考えて工夫して彩色している。 (観察, 作品, 学習カード)
7	・どこを、何で、どのように表したいかイメージ					
8	を伝え合う。 ・用具の特徴を生かして、色や表し方を考えて工夫して彩色する。 ・ミニ鑑賞会をする。					
9						
10	●友人の作品のよさや美しさなど感じ取る。 ・作品の相互鑑賞をする。 ・感じたことや想像したこと、考えたことなどを話し合ったり書いたりする。 ・感想を発表する。				○	・友人の表したいこと、表し方のよさやおもしろさを味わっている。 (観察, 鑑賞カード)

6 本時の指導

(1) 目標

表したい感じに合わせて用具を選び、色や表し方を考えて工夫して彩色する。

(2) 準備・資料

教師：用具セット6つ（たんぽ・割り箸ペン・新聞紙・歯ブラシ・スポンジ・パステル），新聞紙，ビニル袋，試し用紙，掲示物（活動手順・色の感情・用具の特徴・筆の動かし方・片付け方），タブレットPC

児童：絵の具セット，スケッチメモ，学習カード，教科書，筆記用具

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点，◎評価（評価方法）
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div data-bbox="309 524 746 607" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>表したい感じに合う用具を選び，色や表し方を考えて工夫してかこう。</p></div> <p>2 本時で表したいイメージを伝え合う。</p> <p>(1) スケッチメモを見直す。（個人）</p> <p>(2) どこを，何で，どのように表したいかについて伝え合う。</p> <p style="text-align: right;">（グループ）</p> <p>「△△を，○○を使って，～感じに表したいです。」 等</p> <p>3 色や用具，表し方を考えて工夫して表す。</p> <p>4 友人と協力して片付ける。</p> <p>5 ミニ鑑賞会をする。</p> <p>6 本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・新聞紙や絵の具，筆洗，用具セットは，授業開始前に準備させ，スムーズに活動に入れるようにする。</li><li>・学習内容を知らせ，興味や見通しをもてるようにする。</li><li>・スケッチメモを見直すことで，改めて主題を確認し，強調したい部分などを想起させる。</li><li>・どこを，何で，どのように表したいのか伝え合うことで，工夫して表す意識を高める。</li><li>・同じ用具でも，表したいイメージが違う児童や，かく対象が似ていても，違う用具を使う児童を見つけて紹介することで，表し方に広がりをもてるようにする。</li><li>・色や用具，筆の使い方による感じの違いがわかる掲示物を提示することで，かく際の手掛かりとなるようにする。</li><li>・児童の表したいイメージに合った表現を見つけて称賛し，表現に自信がもてるようにする。</li><li>・やり直したいと考えている児童には，工夫の仕方でよくなることを伝えて前向きに取り組めるようにする。</li><li>・つまづいている児童には，どこをかきたのか，どのように表したいのか，心に残っている色は何色かなどを聞き，色や用具，表し方を選べるようにする。</li></ul> <div data-bbox="783 1420 1401 1536" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>◎表したい感じに合わせて用具を選び，表し方を考えて，工夫して彩色している。</p><p style="text-align: right;">（観察，作品，学習カード）</p></div> <ul style="list-style-type: none"><li>・片付けの役割分担をし，スムーズに片付けられるようにする。</li><li>・机の上に置いた作品を自由に見て回り，表現の違いや共通点に気づき，表し方の視点を広げる。</li><li>・児童のつぶやきの中で，称賛の声が聞こえてきた作品をタブレットPCで撮影し，大画面モニターに映して紹介することで，表現の工夫に気付かせ，思いを込めて工夫して製作していこうとする意欲を高める。</li><li>・学習カードに感想を記入したり，発表し合ったりすることで，本時の学びを確認できるようにする。</li></ul>